

# 令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年2月18日  
函館市立五稜郭中学校

## 1 本年度の重点教育目標

【重点教育目標】	自己を見つめ 良さを磨き 高め合う 生徒の育成
【今年度 KEY WORD】	開校10周年『生徒が主役』＝ 挑戦 成長 達成感 ＝

## 2 本年度の取組の重点

(関連する保護者アンケート項目)

【施策1】	生徒一人一人の存在を大切にする学校教育の推進	(1, 2, 3, 7, 13)
【施策2】	生徒の資質・能力を高める上質な授業の提供と学力保障	(5, 8, 9, 10)
【施策3】	生徒主体の教育活動を生かした学校風土の醸成	(1, 5, 11, 12)
【施策4】	教育的使命感に立脚したつながりのある教職員集団の構築	(3)
【施策5】	学校・家庭・地域が一体となった新たな学校教育の創造	(4, 5, 6, 14, 15)

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	評価または改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見(改善策など)
施策1	①生徒に居場所のある学級経営、共感的理解に基づく支援・指導を推進したか。	a	委員会・当番・各種行事など生徒が活躍する場面を設定。アプリでの一日の振り返り、ふれあい活動、教育相談、チャンス相談に客観的資料(調査・アンケート等)も活用し、確かな生徒理解に繋げた。	A	A	
	②いじめ・不登校への組織的な対応、道徳教育・防災教育等を適切に推進したか。	a	年3回のいじめ調査を実施し対策委員会で対応。時刻未告知での避難訓練。地域と連携した防災体験学習。	A	A	防災については、知識だけでなく、実践することを大切にしたい。
施策2	③ICTを効果的に活用し、わかりやすい授業の実施や生徒の学習意欲向上を図ったか。	b	校内研修や職員間の同僚性を発揮してICTの活用についてスキルを高めた。主体的学習への意識向上、確かな学力向上が課題。 ・フォーサイトアプリの効果的な活用を図り、学習セルフマネジメント力を育成する。 ・「できた」という実感や承認を得られる場面を増やすことで意欲向上を図る。	A	A	学力については中学校だけの責任ではなく、小学校段階からの変容の見取りも必要ではないか。
	④生徒がより良い生き方を追求する学習を展開するキャリア教育を推進したか。	a	キャリア教育は本校の特色の一つであり、内容は充実している。地域と連携した防災学習も実施した。次年度以降もカリキュラムに取り入れる。	A	A	防災士など資格を取得したいと希望する生徒が出てくることも期待したい。
施策3	⑤生徒の主体的な取組を通して規範意識を醸成したか。	a	主体的な取組を計画・実施することができた。全生徒のものとなっていない活動もあるため、内容のさらなる質的改善を図る。	A	A	10周年式典や文化祭では、まさに生徒が主体となって活動している様子が見られた。
	⑥生徒に成就感を感じさせる活動を推進したか。	a		A	A	
施策4	⑦校務の効率化と教育の質の充実を両立させることができたか。	a	コアチームを中心に、持続可能でより効果的な取組を継続する。	A	A	
施策5	⑧小中連携やCSの機能を生かした教育課程の改善を推進したか。	a	主にキャリア教育の推進において、地域(外部)の方を講師とした授業、地域に出て学ぶ授業を実施している。今後も継続する。	A	A	地域でできることは実施する前提であるので、学校の困りごとや学校からの要望をぜひ出してほしい。

### ■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

### ■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。